



赤松杯

OP・ダート1600m M2
4月14日(火) 水沢競馬場

昨年の優勝馬・ヒロシクン

胆江日日新聞杯 第51回 赤松杯 (M2)

水沢競馬場 3歳以上オープン・ダート1600m

4月14日(火) 18:10発走

2026年度シーズン、古馬の重賞戦線スタートは毎年恒例の赤松杯。1着馬から3着馬には5月10日(日)、盛岡ダート1600mを舞台に行われる春のマイル王決定戦「第51回シアンモア記念」(M1)への優先出走権が与えられます。昨年は2024年度4歳以上最優秀馬ヒロシクンが鮮やかな逃げ切りを決めて優勝。同年の年度代表馬および3歳最優秀馬フジュージーンの追撃を封じ、続くシアンモア記念も快勝。堂々2連勝を飾り、春のマイル王に君臨しました。

【注目馬情報】

★ヒロシクン セン7歳 佐藤雅彦きゅう舎・水沢

中央1勝クラスから転入して今年で3シーズン目に突入。一條記念みちのく大賞典を皮切りに、重賞6勝。昨年も赤松杯、シアンモア記念を制し、青藍賞2連覇を達成しました。盛岡コースもまったく問題ありませんが、特に水沢1600mは5戦5勝のパーフェクト成績。昨年と同様、春のマイル王へまい進します。

★リケアカプチーノ セン4歳 菅原勲きゅう舎・水沢

8戦5勝2着3回の成績で高知から岩手入り。初戦の東日本交流・ダイヤモンドカップは2着でしたが、東北優駿を圧勝。続いて古馬伝統の一條記念みちのく大賞典へ挑戦し、ヒロシクンとの激しいデッドヒートに持ち込んでハナ差先着。史上初の3歳優勝を果たしました。今年のテーマはもちろん古馬トップの座に就くことです。

★カナオールウェイズ セン6歳 菅原勲きゅう舎・水沢

中央芝2600m2勝、浦和1勝を経て転入。当初は芝路線を歩みいしがきマイルーズ3着、せきれい賞5着。以降はダートをメインにB1級3勝から桐花賞へ果敢に挑戦。積極的なレース運びを見せて3着に惜敗しました。今年は白嶺賞から始動。距離不足をはねのけて快勝し、赤松杯へ名乗り。マイル延長は望むところです。

★プリンスミノル 牡7歳 畠山信一きゅう舎・水沢

中央デビュー3戦目からダートへシフト。1700m～1800m戦で4勝をマークしてオープン入り。昨年は順調さを欠いて3戦のみに終わり、今年2月の小倉を使って転入。岩手へ新天地を求めてきました。

★ボウトロイ 牡8歳 菅原勲きゅう舎・水沢

コースを問わずマイルが最も得意とする距離。過去16勝2着10回3着10回と抜群の適性を誇り、今年3月、復活した重賞・駒形賞を完勝しました。前走も2着を確保して好調と適性をアピールしました。

★トーセンマッシュモ セン8歳 佐藤浩一きゅう舎・水沢

昨年7月から2度の出走取り消しをはさんで目下7戦連続で連対（2着以上）を継続中。重賞・駒形賞でも2着を確保しました。今回はメンバーが大幅に強化されましたが、相手なりに駆ける堅実さが武器です。

文 松尾 康司